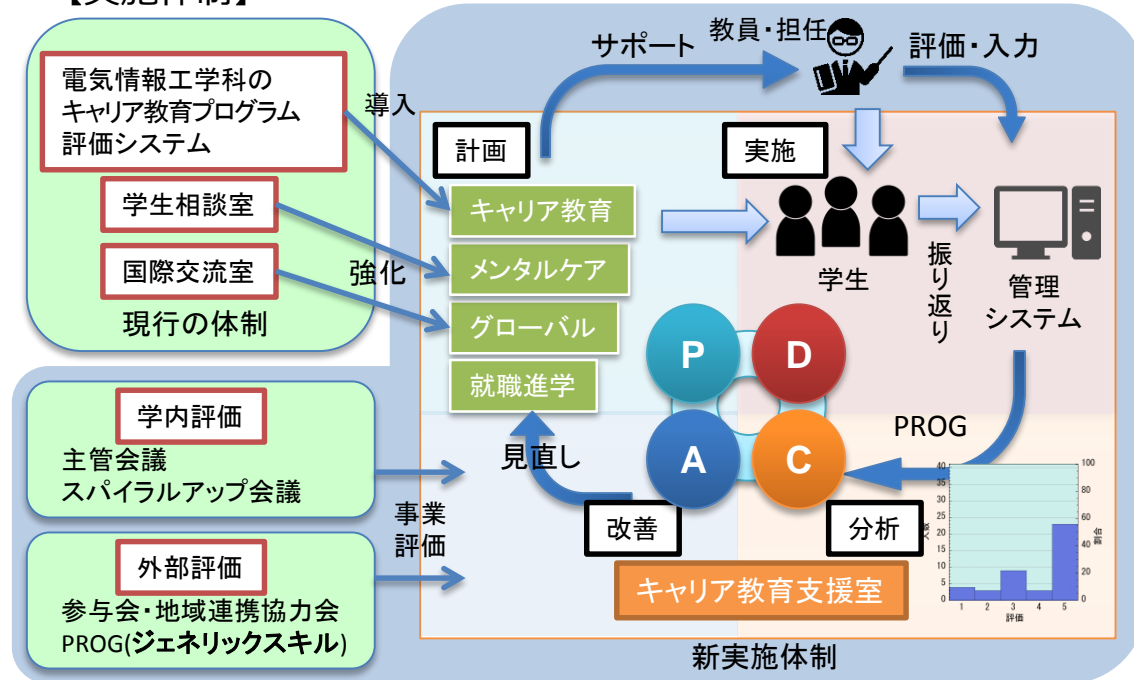


コンピテンシーを高めやり抜く力(Grit)を育む高専キャリア教育

【取組の目的、内容】

入学から卒業まで一貫した体系的なキャリア教育プログラムを開発・可視化して学生のコンピテンシー能力を鍛える。これを評価・管理するシステムを構築し学生の自己分析やプログラム改善に活かし、新産業や国際社会に耐えうる「やり抜く力(Grit)」を持った人材を育てる。

【実施体制】



【工程表】

期間	内容
H30年 7月	電気情報工学科のキャリア教育の全学化の検討 プログラムのフレームワーク設計 キャリア教育支援の体制検討
H30年 8～9月	プログラムのフレームワーク完成 プログラムの実施方法の検討、実施のための資料づくり 海外インターン、エンパワーメントプログラムの実施
H30年 10～12月	キャリア教育プログラムの実施 PROG試験(12月)
H31年 1～3月	管理システムの開発 TOEIC一斉試験 キャリア教育プログラムの実施結果の検証 支援室の運用、インターン・就職資料等の一元化
H31年 4月～	プログラムの完全実施 プログラムの評価・改善

【成果指標】

- コンピテンシーが測定できるPROGの受験学生：202名(H29実績)→1000名 (H30)
- 海外留学・インターンシップに参加する学生数の増加：14名 (H28実績) →21名 (H29実績) →30名 (H30)



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 学生支援が明確になることで高専のイメージアップにつながり、入学志願者の増加が期待できる。
- グローバルマインドの醸成により英語能力の向上、就職後の活躍が期待できる。